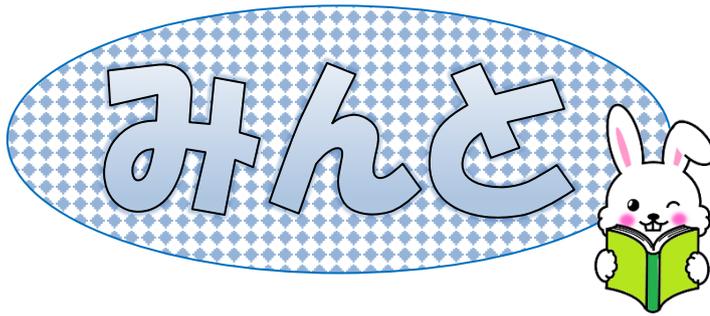


宇佐市民図書館だより



第250号 (令和元年12月5日発行)

発行者：宇佐市民図書館

住所：〒879-0453

大分県宇佐市大字上田 1017-1

ホームページ：

<http://www.usa-public-library.jp>

本館◆TEL 0978-33-4600

FAX 0978-33-4679

安心院分館◆TEL 0978-44-2800

院内分館◆TEL 0978-42-6800

- I C機器の運用がはじまります！ …… 2
- 秋の読書週間行事報告 …… 3
- 特集＝横光利一俳句大会講評 …… 4・5
- ギャラリー 他 …… 6
- 図書館日誌 他 …… 7
- 12月の宇佐市民図書館カレンダー …… 8

【宇佐市美術協会作品】

『初夏の思い出』井土みち子



関脇だった千代大海が初優勝。プロレスラーのシャイアント馬場が死去（61歳・1月31日）文学界では第120回芥川賞に平野啓一郎の「日蝕」、直木賞に宮部みゆき「理由」が選ばれ（1月）、音楽界ではNHKの子ども番組から生まれた「だんご三兄弟」が大ヒットしました（3月）このころ開館した施設には、東京・九段に第2次大戦の戦中・戦後の国民生活を伝える「昭和館」があります（3月）▼フィクションに目を転じると、有川浩の『図書館戦争』（2006年刊）の中で、1999年の2月7日に日野市立図書館襲撃事件「日野の悪夢」が起こる設定になっていました▼あれから20年――。当館では、照明・空調設備の大規模改修、記念事業として歴史講座と古典講座の開講などを実施してきましたが、さらに今月から、図書館I C化事業の一環として、本館での自動貸出機・自動返却機の運用がスタートします。ぜひ、お試しください！

よむそう

20年前の出来事

宇佐市民図書館は平成11（1999）年2月27日に開館し、今年で20周年を迎えました。ここで改めて、

開館当時の世相を振り返ってみましょう▼世界では、元日から、EU（ヨーロッパ共同体）の使用通貨ユーロが11か国に導入され、国内では第二次小淵恵三改造内閣が1月14日に成立。また、2001年からの再編に伴い、新省庁の名称が「財務省（大蔵省を改称）」、「文部科学省（文部省と科学技術庁を統合）」、「厚生労働省（厚生省と労働省を統合）」などに決定しました（4月）▼産業界では日産自動車ガルノーと資本提携をしたのもこの年でした（3月）。スポーツ界では、大相撲初場所で大分県出身の当時

自動貸出機・自動返却機 運用開始！

アイシー

図書館で IC 機器 の運用がはじまります！

12/5 から、図書館本館では、資料の貸出・返却がご自身でできるようになります。新しくなった図書館をご利用ください！



自動貸出機 (本館に 2 台設置)

画面に従って操作します。借りたい資料を机の上に載せ、資料貸出券を機器に読み込ませます。一度の操作で、10 点までまとめて資料を読み込むことができます。

資料貸出券



自動返却機 (本館に 1 台設置)

カウンターの職員に本を直接手渡すことなく、返却ができます。ただし、雑誌・紙芝居・CD・DVD 等は傷みますので、自動返却機ではなく、横に設置している箱に入れてください。



同じ資料を再度借りたい方は、自動返却機に返す前に職員にお声かけください。なお、**宇佐市民図書館ホームページ**上で、ご自分で**貸出期間延長**の手続きができるサービスがあります。ぜひご活用ください。

ICゲート

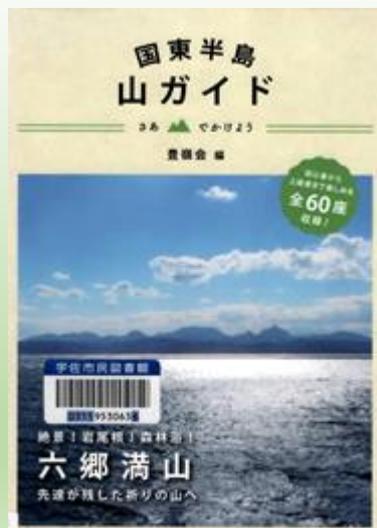


お帰りの際、ゲートのブザーが鳴った方は、機器の不具合等のため資料の貸出手続きがうまくできていない可能性があります。そのときは職員が確認にうかがいますので、申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いします。

豊嶺会とは、1969年に杵築市で発足した山岳会で、「故郷の山からヒマラヤへ」をスローガンとする本格的な登山組織である。今回2019年の50周年を記念し、7年の予備調査を行い発刊に至っている。

国東半島から姫島、宇佐の山60か所の登山ルートを地図・写真を用い、危険個所の解説、緯度・経度の記載を行うことで安全に登山が実施できるように解説を行っている。掲載されたルートの中には、本年10月に歴史の道百選に追加選定された「六郷満山の峯入りの道」も含まれており、峯入りの霊場も多数解説している。A5版96ページ。

『国東半島山ガイド』
豊嶺会編
(佐伯印刷株式会社・2018)



郷土スペース通信244

宇佐市民図書館 秋の読書週間 行事報告



**おかえり、
栞の場所で待ってるよ**
2019・第 73 回 読書週間
10/27 ~ 11/9



大分県立図書館「図書館 利用促進企画」展示

県内の図書館で取り組んでいる企画で、各図書館が作成した自館の「イチオシ」紹介シートや、観光パンフレットなどを展示しました。



他館を知る機会となり、私たち図書館職員にとっても新鮮な企画でした。熱心に見ていた来館者も多かったです。

こども司書

おすすめ本POP展示

11月4日、大分県こども司書養成講座で作成したPOPを館内に掲示しました。

飾りつけも、こども司書が行いました。



読書手帳満点抽選会

11月4日から、本を30冊読んで読書手帳をいっぱいにした子どもに図書券が当たる抽選会を行いました。最初にチャレンジした小学生の女の子は、見事、当たりを引きました。

抽選会は初めての試みでした。参加してくれる子どもが増えると嬉しいです。

読書感想文・感想画表彰式

今年度の「宇佐市読書感想文・感想画コンクール」には、市内の小中学生から感想文2,386点・感想画2,113点の応募があり、それぞれの中から藤花賞・優秀賞各9点、合計36点が選考されました。

11月17日に行われた表彰式では、竹内新教育長が代表者に賞状を授与し、榎本徹学校図書館協議会長が感想文の藤花賞9点についての講評を行いました。

感想画の受賞作品は、12月28日までエントランスホールに展示する予定です。また感想文・感想画受賞作品の作品集もご用意しますので、ご希望の方は図書館までお問合せください。

こどもスペースだよの2019

イルミネーションが美しい季節になりました。絵本展示架は「たのしみなクリスマス」です。世界のクリスマスの本を集めています。

特集展示架は「来年の主演・ねずみ」です。いろんなねずみの本があつて、見ているだけで楽しくなりますよ！

◇おてがみありがとう◇

くりすますの さんたくろうすのおはなしの ほんお みたいです

図書館から

今月は、図書館の「さんたくろうすのおはなし」をたくさんだしてあります。
ぜひ、読みに来てくださいね。

「継承と創造おおいた 2019」第 21 回 大分県民芸術文化祭参加行事



第 21 回 横光利一俳句大会 講評から
 思いの丈が投射される「俳句」
 講評：野中亮介さん (俳人・本大会選者)

11 月 2 日 (土) に図書館視聴覚ホールで行われた表彰式で行われた
 講評のダイジェストを紹介します。

●横光利一俳句賞
 雷鳴も祭りの音も遠ざかる

(世田谷区・諸星 和さん)

浅井慎平先生のコメント「遠ざかるものは雷鳴や祭りの音だけではない。人生の深遠の気配が読みとれる」。

大きな文学者の名前を冠した俳句大会が全国にごさいましたが、そのほとんどがなくなってしまう。この会のように 21 年も続いているのはまれで、全国でも珍しい長寿の会ということになるかと思えます。

また、宇佐市ゆかりの作家である横光利一の名前を冠したこの大会が、宇佐市あるいは大分県にとどまっていたのは発展性がありません。大分県の人賞になり入選しないというくらいのおりです。そういう意味で、今回、特選トップをとられたのは東京都世田谷区の方でした。

●大分県知事賞
 あめつちの定めしあきと開始

(大分市・金澤諒和さん)

俳句としての格調が高い句です。近來、俳句というものがつぎやぎの文芸になっていて、ボンボンとひとりごとを発したような句が通用しています。それが俳句の魅力のひとつではあると思えますけれども、この句は非常に正調の、調べの張った、澄んだ句として、非の打ちどころがない句ではないかと思えます。

あめつちとは天地のことですが、それを通り越して神仏というところ

まで見据えていい表現ではないかと思えます。そこにしつかりと、自分の「あきと」つまり「あき」を引き締めて、立ち位置を定めるといふ人間としての心のありよう。そして、放たれた白い矢。矢を射て高らかに鳴る音。俳句としては、久々に感じる、すつきりとした句だと思つて感心いたしました。

●宇佐市長賞
 身の丈の生きし余生や虫浄土

(大分市・小田祥子さん)

浅井先生のコメント「あたりを埋める虫の音に包まれた人生への感慨が静かに美しい」。やわらかい、女性らしい心の優しさがあります。人間は背伸びをしても、身の丈を越えることはできません。自分の思いをいくら熱く述べてみても、身の丈を越すことはできない。俳句というのは、思いの丈が投射された文芸といわれますので、自分をごまかして作ることはできません。それが、「身の丈の生きし余生や」。それが虫浄土である、澄んだ世界であるところ、この句の手柄ではないかと思えます。

●宇佐市議会議長賞
 終戦日同じ時間に飯を食ふ

(大分市・高野ちか子さん)

何でもないことのようにですが、「同じ時間に飯を食ふ」ことのありがたさだと思えます。ご飯を食べるときにいくつかの幸せがあると思いま

す。ご飯が食べられるという健康状態。ご飯を食べることが出来る経済状態。ご飯を作ってくれる人がいるというありがたさ。ご飯と一緒に食べてくれる人がいるという温かさ。こういうことをいつも感じます。「同じ時間に飯を食ふ」ということは平々凡々としたことだけれども、自分と一緒に食べている人がいるというありがたさ、同じ健康な状態であるということが、やつと戦争が終わったというところにつながってくるのではないかと思えます。

●宇佐市民図書館協議会長賞
 秋の日や透けて句へる鮑屑

(上毛町・尾形康子さん)

浅井先生のコメント「人の眼とこころに映し出された日常の情景の深さ」。秋の澄んだ日が、スッスツと引かれてクルクルツと丸まった鮑屑に透けて、木の香りが立つてくる。非常に気持ちよい句だと思えました。

●豊の国宇佐市塾賞
 一湾は秋の入口雲流る

(大分市・中尾豊子さん)

「一湾は秋の入口」という大胆な発想を詠んだ人は今までいなかったのではないでしょう。一つの湾の中へ船が入ったり出たり、そういう目に見えるものの入口出口であるということ以外に、「秋」が入ってくるんだという、それは雲の流れによつてわかるんだという、風の動きであつたり、頬を過ぎてゆくその冷たさ

であったり、そういうことを作者は海を見ながら感じたのでしょね。

●浅井慎平選者賞

蝸壺の口の虚ろや敗戦日

(香川県三木町・岡 汀子さん)

浅井先生のコメント「流れゆく月日、かい間見た蝸壺、そこにさえ人のこころは何かを感じとる」。日常の何でもないことですね、漁が終わって蝸壺が積んである。虚ろな口が並んでいる。その何ともいえない虚ろさ。漁が澄んだという虚ろさ。それは、戦いが済んだという、勝ったという、あるいは敗けたという虚ろさ、それにつながっていくのだらうと思えました。ただ単に積んである蝸壺の口から、敗戦日までを想像することができたというところが、この作者の手柄ではないかなと思いました。

●宇佐市教育長賞

ピアノリストの去りし舞台や原爆忌

(高松市・藤目ひとみさん)

浅井先生のコメント『戦場のピアノリスト』を思い出した。人のいない舞台と原爆忌の結びつきが心を揺する。日本にも「月光の夏」という映画もありましたね。特攻で飛び立つ前にベートーベンの「月光」を弾いたピアノリスト。戦地へ赴いた若者の中には、音楽家を志していた人も画家を志していた人もあったでしょう。そういう学徒まで戦争に駆り

出さなければならなかったという哀しい事実がありました。

●野中亮介選者賞

嘉手納基地のベース

鞆の動かさる

(北九州市・藤原弘美さん)

鞆(しゅうせん)はブランコのことです。「春」の季語です。先日、首里城が燃え落ちて、沖繩の方はご苦労ばかりのしかかっていると思えます。その沖繩にある米軍の基地のひとつが嘉手納基地ですね。ベースには家族の方も住んでいる。そこにアメリカ人の子どもたちが遊ぶブランコがあるのでしょね。そのブランコが動いていない。動いていれば、そこに活発に遊んでいる子どもたちの姿が想像できるのですが、その楽しいはずのブランコが静かに垂れたままである。その向こうには、ご主人はどこかの戦場に赴いているのかもしれないということまで暗示させる。反戦的というわけではありませんが、時事的なものを俳句に読み込むということは非常に難しい。そういう難しいことを、デマゴグ(非難)のように「戦争反対」といわずに、静かに「ブランコが動いていない」ということで代弁させている。そこに作者の力量がみえる気がします。

次に、中学生以下の部です。

●横光利一俳句賞

カフトムシおちてころんで努力する

(宇佐小6年・田口悠雅さん)

浅井先生も私もった句です。浅井先生のコメント「起き上ろうとするカフトムシに努力を見たことが素直に伝わって来た」。本当に素直な句ですね。特に「努力する」というところが作者の悠雅君の心意気がみえたところなんです。あんなにりっぱなカフトムシでも苦勞をするんだよ。木からコロんと落ちたけれども、また這い上がって木に登ろうとする。そこに悠雅君が「共感」した。「共感」したから句を詠めたんだと思います。

●大分県知事賞

とんぐりがぼろぼろおちて

りすがいる

(高家小4年・田畑美月さん)

この句も浅井先生も私も推した作です。浅井先生のコメント「とんぐりにもりすにも動きが見えて生々と感じた。ひらがなでそろえたこともよかった」。ぼろぼろおちてりすがくる「なんて可愛いですね。こういうところがなかなか僕たち大人には見えない世界になっています。ぼろぼろとんぐりが落ちると、それをほおばるためにりすがおちてくる。深く読めば食物連鎖で、植物が落ちて、それを動物が食べて、動物がフンをして、またとんぐりが育つて、ということになるのでしょね。ぼろぼろ落ちたとんぐり

りと、それを食べにくるりすの、ちっちゃな喜びに満ちた童話の世界が見えてくるような気がしました。

●宇佐市教育長賞

抜けた歯を見せ合う姿夏の友

(駅館小1年・福岡夏花さん)

浅井先生のコメント「夏休みの日の楽しさが明るく届いた」。歯が抜けて、乳歯が抜けて永久歯になったんでしょね。今度は大きな歯が生えてくるんだよ、と抜けた小さな歯を見せている様子が見えてきますね。

●大分県北部振興局長賞

夏休みきれいなつみをみてみたい

(北馬城小6年・平ひかりさん)

「きれいなつみをみてみたい」というのは何かドキッとする句です。今、プラスチックごみなどが非常に地球を汚しているという現状があつて、ただ単に海を見にいきたいということを通越して、「汚染されていないきれいな海」を見たいんだという自分の心を描いたとも読めるかないう気がいたしました。

●宇佐市民図書館協議会長賞

蚊柱に追いかけられる通学路

(宇佐中1年・末貞怜子さん)

蚊柱というのははまといつくものですから、それを振り払い振り払いながら逃げている子どもさんの姿というのがよく出ているなと思えます。

企画展 没後 100 年 「三大疏水の父・南一郎平展」

期間 12 月 21 日 (土) ~ 1 月 31 日 (金)
場所 2 階 渡綱記念ギャラリー
観覧無料



南一郎平は、宇佐で完成させた広瀬水路の業績が評価され、当時の農商務省に入り、琵琶湖疏水（京都—滋賀）、那須疏水（栃木）、安積疏水（福島）といった、のちに日本三大疏水と呼ばれる国家規模の巨大大事業に携わりました。

2019 年は、南一郎平の没後 100 年にあたります。また 2020 年は、広瀬水路の通水 150 周年を迎えます。

こうした節目を迎えるにあたり市内では、改めて南一郎平の功績を讃え、恩恵に感謝しようと、記念碑の建立や講演会の開催などが計画されています。そこで、当ギャラリーでもこの機会に関連企画展を開催することになりました。

この展示が、南一郎平の人と業績を再発見するきっかけになれば幸いです。



ご寄贈 (11 月分・敬称略)

歴史研究会、内館彬、日本文化興隆財団、湊野純生、三浦直子、式田美恵子
大分県立先哲史料館、おりづる書房、
日本新薬株式会社

ありがとうございました

「日本」の項には、日本においてお正月は「現在でも日本の国民の祝日で最も重要とされている」と紹介されています。ポーン、忘年会に始まり、年末の大掃除、大晦日の「紅白歌合戦」、除夜の鐘を 108 回鳴らす理由、年賀状の作法、お節料理の中心にいたるまで、細かく取り上げられています。

外国のお正月文化を知ると同時に、日本の風習を改めて見つめ直すきっかけとなる 1 冊です。

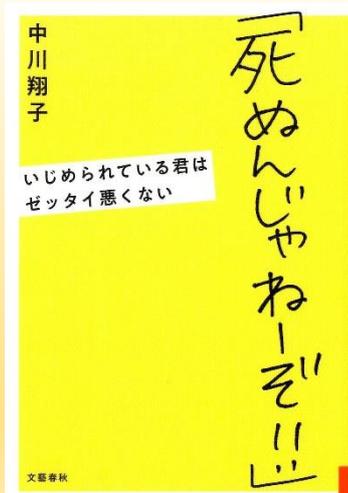
『世界のお正月百科事典』

(椋風舎)



知ると楽しい図書館のミカタ 116

ヤングコーナーレビュー172



『死ねんじゃねーぞ!!』

いじめられている君は

ゼツタイ悪くない』

著 中川翔子

発行所 文藝春秋

女優・声優・歌手・アイドル・漫画などあらゆる方面で活躍する中川翔子さん。そんな彼女も10代のころは「キモい」「ゲロマシーン」など陰口を言われ、靴を捨てられ、先生も助けてくれず、不登校——そして自殺しかけたという。
繰り返されるいじめ事件。そして、死を選ぶまで追いつめられる子ども。そんな中、中川翔子さんは叫ぶ。「死ねんじゃねーぞ!」

12月のミニ展示

東側(いちばん奥のOの棚)から順に紹介します

【窓側】

- わくわく♡図書館
- 冬にゾワっとするのはなし
- あこがれの南の島
- 日本脱出
- 身体の痛み解消!
- 民法って何だろう??
- 気持ちを包む
- 胃腸をいたわる
- 深海生物を知る
- もう1度万葉集
- 海外の名作を読もう
- 東京ストーリーズ
- 漢詩にチャレンジ
- 旅行エッセイ
- 視聴覚: クリスマスに観たい!聴きたい!!

【通路側】

- お正月は家族みんなで雑学王!!
- 神話について知る
- 赤穂浪士
- 誰かの為にできること
- 地球のトリセツ
- 麺類が食べたーい!!
- 年末年始を過ごす場所
- 年賀状の準備を使用!
- 語彙カアップへしてみませんか?
- アンソロジーを読む
- 種田山頭火
- 映画化した小説
- 夏目漱石を読む
- フリー①寒さ対策!!
- フリー②Ladies & Gentlemen!

図書館日誌 10月21日~11月20日

- 10/22 中世文書を読む会
 - 10/26 続・宇佐おもしろ歴史講座
 - 10/26 続・横光利一を読む会
 - 11/3 絵便り教室
 - 11/12 近世文書を読む会
 - 11/16 続・宇佐おもしろ歴史講座
- 図書館ボランティア
おはなし会

- 10/29 「たまてばこ」
 - 11/2 「おはなしあのかね」
 - 11/20 「もういいかい」
- 図書整理ボランティア(毎週木曜)

12月ヤング特集

「パーティーの準備だ」

12月安心院分館ミニ特集

- 「ウィルスに負けない」(館内)
- 「おうちの中で楽しもう」(BM)

12月院内分館ミニ特集

「大掃除は早めに・・・」

本館11月の特集展示(過去分)

- 「あったか手編み」
- 「あったか料理」

12月の宇佐市民図書館 本館



1	日	11/25 (月)~12/4 (水)の間は、蔵書点検作業のため全館(本館・安心院分館・院内分館・移動図書館車)休館させていただきます
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	おはなし会「おはなしあのね」 11:00~11:30 上映会「パパにあいたい」 14:00~14:15
8	日	上映会「9か月」 14:00~15:44
9	月	休館日
10	火	近世文書を読む会 14:00~15:30 ほんの森号 ①横山小 ②八幡小 ほんの夢号 ①南院内小 ②院内中部小
11	水	ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ③長洲公民館
12	木	ほんの森号 ①糸口小 ②豊川小 ③貴船団地 ほんの夢号 ①深見小 ②津房小
13	金	ほんの森号 ②長洲小
14	土	方丈記を面白く読む会 13:30~15:00 上映会「ちいさなプリンセスソフィア」 14:00~15:52
15	日	上映会「ハンサム☆スーツ」 14:00~15:55
16	月	休館日
17	火	ほんの森号 ①長峰小 ②天津小 ③小峰団地 ほんの夢号 ①佐田小 ②院内北部小
18	水	ほんの森号 ①北馬城小 ②宇佐小 ③渚団地
19	木	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③四日市コミュニティー ほんの夢号 ②安心院小
20	金	
21	土	上映会「アーサー・クリスマスの大冒険」 14:00~15:37
22	日	図書館友の会 冬の朗読会 10:00~12:00 上映会「まぐろ仲買人 藤田浩毅の仕事」 14:00~14:43
23	月	休館日
24	火	おはなし会「たまたまぼこ」 11:00~11:30 中世文書を読む会 14:00~15:30
25	水	
26	木	休館日(月末図書整理日・毎月最終木曜日)
27	金	
28	土	おはなし会「図書館職員」 11:00~11:30 続・横光利一を読む会 14:00~16:00 上映会「あらいぐまラスカル④」 14:00~15:43
29	日	12/29 (日)~1/4 (土)の間は、年末年始のため全館(本館・安心院分館・院内分館・移動図書館車)休館させていただきます
30	月	
31	火	

渡網ギャラリー展示
三大疏水の父・南一郎平展
12月21日(土)~1月31日(金)

エントランス展示
宇佐市美術協会作品展
12月5日(木)~12月28日(土)
宇佐市読書感想画コンクール入賞作品展
11月15日(金)~12月28日(土)

講座案内
*2階・研修室で開催しています。
*参加は自由です(無料)。
◆古文書を読む会
近世文書 12月10日(火) 14:00~15:30
中世文書 12月24日(火) 14:00~15:30
◆方丈記を面白く読む会
12月14日(土) 13:30~15:00
◆続・横光利一を読む会
「旅愁」を読む 238
12月28日(土) 14:00~16:00

上映会
*1階・視聴覚ホールでビデオやDVDなどを
使って上映しています(無料)。
*いずれも上映は14:00からです。
◆子ども向け(アニメなど)
7日(土)「パパにあいたい」
作/ビーゲン セン、絵/オームラトモコ、
朗読/赤松早苗 15分
14日(土)「ちいさなプリンセスソフィア」
「とくべつないちにち」など5作 112分
21日(土)「アーサー・クリスマスの大冒険」
CGアニメーション 2011年 97分
28日(土)「あらいぐまラスカル④」
「夏休みの第一日」など4作 103分
◆一般向け(映画など)
8日(日)「9か月」
(吹替)出演/ヒュー・グラント 1995年 104分
15日(日)「ハンサム☆スーツ」
出演/谷原章介、塚地武雅 2008年 115分
22日(日)「まぐろ仲買人 藤田浩毅の仕事」
NHKプロフェッショナル仕事の流儀 43分

ほんの森号の時間帯 ①10:20~11:00 ②13:00~13:40 ③15:20~16:00

ほんの夢号の時間帯 ①10:20~11:00 ②13:00~13:40

※令和2年は、1月5日(日)から開館します

おはなし会

7日(土)おはなしあのね
24日(火)たまたまぼこ
28日(土)図書館職員



*1階・おはなしのへやで開催しています。

*参加は自由(無料) *いずれも11:00~11:30